

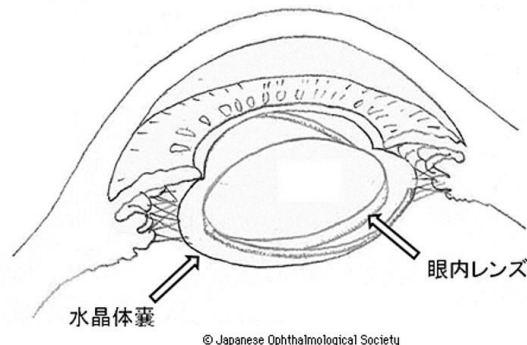
### 白内障(はくないしょう)について④

では前回号に引き続いて「白内障」についての解説です。前回号に続いて日本眼科学会のホームページ [http://www.nichigan.or.jp/public/disease/suisho\\_hakunai.jsp](http://www.nichigan.or.jp/public/disease/suisho_hakunai.jsp)

からの引用文です。@@@

白内障は高度な医療技術と手術に携わる医療関係者の努力によって年々進歩しています。手術時間が短いことが良い手術とか、切開が小さく簡単な手術というような間違った認識がありますが、手術の合併症によって重篤な視力障害が生じる場合もありますので、眼科医とよく相談して決める必要があります。

図3. 眼内レンズが埋め込まれた目のイメージ



(東京大学医学部眼科 永原 幸講師提供)

#### ■眼内レンズについて

眼内レンズにはさまざまなタイプものがあります。ほとんどが小さな切開から挿入できる生体適合性の良い柔らかい素材(アクリル、シリコーンなど)が使われています。これまでは主に単焦点の球面眼内レンズが使われていましたが、最近では視覚の質を向上させるため、着色(青色光を抑える)非球面だけでなく、乱視矯正(正乱視の矯正)、多焦点、調節などの眼内レンズも開発されています。特徴としては着色や非球面効果は像のコントラストが良くなり、瞳孔が大きくなる暗い場所で従来の球面眼内レンズよりは見え方が良くなります。乱視矯正眼内レンズは裸眼視力を上げるために、多焦点や調節眼内レンズは従来の単焦点眼内レンズに対し、近くも遠くも見えるという老眼対策として開発されています(保険適用外)。新しく開発された眼内レンズが良いということではなく、患者さんの年齢や目の状態などに応じて使い分けられています。

小児に対しても眼内レンズの適応が認められており、眼内レンズの挿入が行われていますが、2歳未満(眼が小さい)の場合やほかに眼合併症がある場合は挿入できないことがあります。手術の時期や眼内レンズの適応については、小児白内障の手術経験のある眼科専門医に相談してください。

#### ■手術後の見え方と注意点

無着色眼内レンズを挿入された場合は、青みがかかって見えるという感覚を自覚される場合があります。この現象は特に大きな害はなく、多くは経過とともに慣れて感じなくなります。着色眼内レンズの場合は青色光を抑えているため、青みがかかって見えるという感覚はほとんどありませんが、若年の患者さんの場合は逆に黄色く見えることがありま

す。この現象も経過とともに慣れて感じなくなります。乱視矯正眼内レンズはレンズが乱視の軸からずれると効果が減弱します(最近開発された眼内レンズは生体接着性が良くほとんどずれません)。多焦点眼内レンズは光の収差を増やすため、単焦点のような良好なコントラストではなく、少し霞んで見えるようになります。調節眼内レンズは単焦点でレンズが調節(毛様筋や硝子体圧の変化)によって動くという仕様になっていますが、個人差があるため十分な効果が得られない場合もあります。いずれにしても年齢によっても変わることから、手術を受ける前に眼科専門医とよく相談する必要があります。

@@

紙面の都合で今回のフジタガンカニュースはここまでとなります。

前回号でも触れましたが、上記引用文中に登場する「眼内レンズ」とは、藤田が解説で使用する「人工レンズ」と全く同じ意味です。人工レンズ=眼内レンズということですね。

しかし、暑さが続きますね。患者さんでも熱中症もしくは脱水の診断で体調不良があったというように話を聞くこともしばしば。個人的には「のどが渇いたと感じなくてもとりあえず何かを常に飲んでおく」という事が重要な気がします。喉が渇いた感覚がなくても脱水になることはあるようですので…。

また、市内の小学校では今どき考えにくい事です「水筒の持参を禁じている」学校も多いようです。水道の蛇口から直接飲水すれば宜しいでしょうという事なのですが、流石にそれは現代的ではありませんし、生ぬるい水道水は「積極的な飲水を妨げる(どうしてもじゃなければ極力飲まない)状況」を生むので、上記のような「口渴の自覚を伴わない脱水」は防ぎにくくなる訳です。なるべくこうしたことをご理解頂くべく、教職員の先生方には説明をしますが、「慣例にそぐわない」として了承して頂けないケースも多くあります。今後とも、こうした啓蒙には努力を続ける所存ではおりますが、各

### 2018年度夏季休診日程

	8/15	8/16~23	8/24
AM	○	×	○
PM	○	×	○

※ ×・・・休診 ○・・・通常診療



<http://www.fujita-ganka.com>

個人の対策も大切かと思えます。喉の渇きがなくても水分補給を、例えばそれが水道水であっても…我慢して飲んで欲しい…それが私からのお願いです。

それでは次回号をお楽しみに~(^^)/

### 今月のお知らせ

本年度の夏季休診は左上の表の通りとなっています。

また10月12日(金)午後と13日(土)は院長が臨床眼科学会に出席するため当院は休診となります。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解の程お願い致します。



FUJITA-EYE-CLINIC

# 藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)



# F-Vision

☎042  
(645)  
0575  
☎042  
(642)  
2911